

## 地域移行に関する意向調査の結果について

各地域福祉課にて、平成30年度から令和2年度の間にかけて実施した調査の状況及び結果

○調査方法：障害支援区分の認定調査等で職員が入所施設を訪問した際に実施

○施設入所者数：501人（令和元年度時点）

### 1 調査数及び希望者数

地区	調査数			うち「希望する」と回答した数					
	身体	知的	計	身体		知的		計	
大森	5	38	43	0	0%	0	0%	0	0%
調布	4	26	30	0	0%	1	3.8%	1	3.3%
蒲田	28	57	85	7	25%	1	1.7%	8	9.4%
糀谷・羽田	8	23	31	3	37%	0	0%	3	9.6%
合計	45	144	189	10	22%	2	1.3%	12	6.3%

### 2 希望しない方の主な理由

身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性のため（バリアフリーの住居が必要、施設での安全管理が必要 など）</li> <li>・住む場所が見つからないため</li> <li>・地域移行をしたいと思える理由が見つからない</li> </ul>
知的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい特性のため（意向確認が困難、施設での安全管理が必要 など）</li> <li>・地域移行について不安がある</li> <li>・地域移行をしたいと思える理由が見つからない</li> <li>・今の環境でも不満なく生活できている</li> </ul>

### 3 地域移行支援における課題等について

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に移行することで、多数の事業所や支援者が関わることになるが、その環境の変化を利用者自身が受け入れられない事が多い。</li> <li>・高齢の方については、福祉施設から介護保険・入院への移行となる傾向が強い。</li> </ul>
身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体に障がいのある方については、バリアフリーの住居、かつ都営住宅のように金銭的な負担が少ない住居であることを希望する場合が多く、本人の意向に見合う居住先が見つからないこと。</li> </ul>
知的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知的障がいのある方が施設入所に至る場合、介護者が高齢化や疾病などの理由から介護ができなくなった結果である場合が多い。また、入所者の障害支援区分5、6と重度の方がほとんどであることから、地域移行に関する意思確認が難しい現状がある。</li> </ul> <p>そのため、意思確認が難しい方に対する意思決定支援の在り方を十分に検討したうえで、地域移行に進んでいくことが必要である。</p>